

## 大学図書館等による展示

### SALA加盟図書館所蔵資料展示会

#### SALAとは

Saitama Academic Library Association の略です。本会は、1988年に埼玉県内の大学・短期大学図書館で設立された任意団体です。会員間の相互協力を通じて、相互の改善向上を図ること目的とし、その目的達成のために幾つかの事業を行っています。

#### ■国立女性教育会館女性教育情報センター くどなたでも利用できます！

##### NWEC 女性教育情報センター

国立女性教育会館（NWEC）は男女共同参画を推進する機関で、ジェンダー平等の実現に取り組んでいます。館内にある「女性教育情報センター」は、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する専門図書館で、図書は約14万冊所蔵し、専門書から絵本まで幅広く収集しています。その他、雑誌や新聞記事、ミニコミ誌、地方行政資料を所蔵しています。今回の展示ではサービスの内容を紹介すると共に、所蔵資料を一部展示しました。

当センターは国内在住の方はどなたでも利用できる図書館です。図書・雑誌の貸出や電子ブックの利用登録ができます。また、全国の女性関連施設、公共図書館、大学、高校、企業等の機関・団体向けに図書を50冊、100冊とテーマ別に貸し出す「NWEC パッケージ貸出サービス」を提供しています。

当日は男女共同参画すごろくや、SDGsさんかくしおりおり、所蔵資料の紹介冊子『本、あり。』等の配布も行いました。



#### 【展示資料】

『すきっていわなきゃだめ?』 辻村深月作、今日マチ子絵、瀧井朝世編 岩崎書店 2019  
『12歳までに身につけたいSDGsの超きほ

ん』 蟹江憲史監修 朝日新聞出版社 2021  
『こどもジェンダー』 シオリーヌ著 ワニブックス 2021

『ぼくのかぞくぼくのかからだ：プライベートパーツのえほん』 きたがわめぐみ作 永岡書店 2023 他、全11冊

(記録：国立女性教育会館 谷口 瑞枝)

#### ■城西大学

##### <城西鉄道の旅

##### ～ライブラリー라운ジの歴史探訪～

城西大学水田記念図書館では、2012年から教員の推薦を受けた学生・大学院生が館内に常駐し、学生への学習支援を行っています。

今年で11年目になる活動内容は多岐にわたり、論文やレポートの書き方のアドバイスや、文献の探し方、パソコンの使い方などのほか、図書館利用促進のために学生が楽しめる様々なイベントを企画・運営しています。

今回は、学生アドバイザーの活動をさらに知っていただくために、2014年からこれまでにを行ったライブラリー라운ジの歴史を鉄道の旅になぞらえ、楽しみながら振り返ることのできるポスターを展示しました。

訪れた方々には、架空の鉄道を模したポスターに仕掛けられたイベント紹介のPOPを開いたり、一緒に展示した学生アドバイザー作成のグッズを手にとったりして、楽しみながら学生アドバイザーの活動をご覧いただきました。

今年は2019年以降、初めての会場展示でしたが、学生アドバイザーの活動自体も今年から近隣の小・中学校や高校との地域連携活動が新しく始まっています。これから学生アドバイザーの活動がどこまで広がっていくのか今後の報告にご期待ください。



(記録：城西大学 豊島 啓子)



職員が協働し、おすすめ本の展示や、ビブリオバトル、選書ツアーなどのイベント企画を行っています。

今回は、そんな「ほんだな係」が過去に展示してきたおすすめ本と紹介ポップを展示しました。どのポップも工夫がちりばめられた力作ぞろい。様々な世代の来場者にご覧いただき、たくさんの方がポップづくりの参考にと写真を撮っていかれました。

展示場所には「ほんだな係」所属の大学生が常駐し、ポップ展示のほかにも今までに行ってきた様々なイベントについて説明させていただきました。現「ほんだな係」メンバーにとって、他大学団体との交流や、図書館関連イベントに出展することは初めての経験でした。たくさんの方に「ほんだな係」の活動に関心をもってもらい、交流させていただいたことは、メンバーにとって大変貴重な機会となりました。



(記録：文教大学越谷図書館 畔上 幸子)

### ■ものづくり大学

#### <本学教員の著書を紹介します>

2023年3月に出版されました『図解 世界遺産ル・コルビュジエの小屋ができるまで』をメインに、「カップ・マルタンの休暇小屋」の実寸大レプリカの紹介動画、本学教員が執筆、編集した書籍を展示いたしました。

この『図解 世界遺産ル・コルビュジエの小屋ができるまで』は、本学名誉教授の藤原成暁氏と八代克彦氏により、フランスの実測から本学キャンパス内に再現するまでをまとめた書籍になります。この書籍と共に、実寸

大レプリカ「カップ・マルタンの休暇小屋」の外部から内部までを紹介している動画を紹介する事が出来て良かったです。

この他にも、本学の先生方が執筆、編集されている書籍も紹介することが出来、本学の特色、また、ものづくり大学がある行田市を少しでも伝える事が出来たと感じました。ただ、本学のパンフレットを持参する事が出来なかったのが反省点でしたので、次回につなげていこうと思います。



(記録：ものづくり大学図書館・メディア情報センター 細井 まちこ)

### ■山村学園短期大学

#### <遊んで学ぶ>

本学は、鳩山町にある小さな短期大学です。比企丘陵の丘の上、周囲を広葉樹の木々に囲まれ、図書館から眺める景色は、日々季節の移ろいを映しています。

子どもに寄り添いともに歩む保育者を養成する「子ども学科」を設置しています。近隣の保育園児や幼稚園児が行事に参加し、小遠足に訪れ学生と虫やどんぐり・松ぼっくりなどの植物に触れ、学生自身も子どもの頃のきらきらを思い出し、様々な遊びを通して多くの事を学んでいます。

今回の展示では、そんな遊びの大切さを学べる図書館の書籍を集めて展示しました。『森の幼稚園』『ごっこ遊びの探求』『遊びが学びに欠かせないわけ』等の他、集団ゲーム、秘密基地、わらべうた、年齢別遊びの本も展示しました。保育・心理・発達・特別支援など特色有る定期刊行物も展示しました。



今年も人気の絵本や仕掛け絵本、そして学生の創作絵本や新聞紙とビニールテープで作った色鮮やかな造形作品を展示しました。特に高さ116cmの大型絵本『100かいだてのいえ』は、日頃絵本には縁が無いと仰る方々も圧倒され、歓声が上がりました。



(記録：山村学園短期大学図書館 品川今日子)

■立正大学

＜図書館でモノづくり！？ぶっくまと一緒にレーザーカッターで葉を作ろう！＞

立正大学熊谷図書館では、“創造的な学修”に特化した次世代ラーニングコモンズ施設として、昨年度より、3Dプリンターやレーザーカッター、ミシン等のデジタル機器を利用できる「RiLLLAB」と、VRヘッドセットやクロマキー背景、ボードゲーム等を利用できる「RiLLBase1」を新設し運用しております。

今回は、本学で提供している「缶バッジマシン」と「レーザーカッター」を使い、来場者にオリジナルのしおりと缶バッジを製作いただける体験イベントを実施いたしました。そして、イベントでは学生協働団体「ぶっくま」が大活躍！当日の対応をはじめ、展示ポスターの作成や製作グッズのデザイン案を担当するなど、企画・運営の中心として活動してもらいました。2019年度に発足した「ぶっくま」は、コロナ禍による制限を経て今年度はようやく活発な活動を進めることができ、今回はじめて「図書館と県民のつどい」に参加をさせていただきました。次年度以降も「ぶっくま」を中心に出席出来ればと思っておりますので、今後の活動にぜひご期待ください。



(記録：立正大学熊谷図書館 佐々木 綾花)



SALA 加盟図書館資料展示会チラシ